

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	7-	1	
事業名	国民健康保険特別会計繰出金	会計 一般	款 3	項 1	目 1
政策	1 健康であるために	課名	保険年金課		
施策	1-3 社会保障の確保	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町国民健康保険被保険者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	国民健康保険加入者が健康で安心した生活を送るため。
事業内容	国保財政安定化のため特別会計へ繰出			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	国民健康保険料収納率	97.9			%	→	98.1
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			152,333	160,541	162,566			
財源内訳	直接事業費 A		151,937	160,145	162,236			
	うち一般財源		72,065	77,016	78,089			
人件費 (千円) B			396	396	330			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.06	396	0.06	396	0.05	330
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	適切な事務の執行に努める。	③取組の課題	特別会計において経理されている事務及び事業に係る経費のうち、繰り入れ対象経費の把握及び適正な算定を行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	法令等に基づき国民健康保険特別会計繰出金を適正に執行することができた。	④今後の改善計画	特別会計で経理されている事務及び事業に係る一般会計からの繰り入れ対象経費の財源に充てるため、適正な繰り入れを行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	7-	2	
事業名	後期高齢者医療療養給付費負担金	会計 一般	款 3	項 1	目 1
政策	1 健康であるために	課名	保険年金課		
施策	1-3 社会保障の確保	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三重県後期高齢者医療被保険者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	後期高齢者医療加入者が健康で安心した生活を送るため。
事業内容	三重県後期高齢者医療広域連合への療養給付費等を負担			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			223,415		230,118		236,514		
財源 内訳	直接事業費 A		223,019		229,722		236,184		
	うち一般財源		223,019		229,722		236,184		
人件費 (千円) B			396		396		330		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.06	396	0.06	396	0.05	330	
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	適切な事務の執行に努める。	③取組の課題	被保者数の増に伴い、年々増加する負担金の基となる療養給付費を抑制する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	法令等に基づき広域連合へ公費負担割合分の町負担を適正に執行することができた。	④今後の改善計画	三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、医療費抑制を図るため健康診査等を推進する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	7-	3	
事業名	後期高齢者医療特別会計繰出金	会計 一般	款 3	項 1	目 1
政策	1 健康であるために	課名	保険年金課		
施策	1-3 社会保障の確保	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三重県後期高齢者医療被保険者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	後期高齢者医療加入者が健康で安心した生活を送るため。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 三重県後期高齢者医療広域連合への繰出 事務経費を特別会計へ繰出 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	後期高齢者医療保険料収納率	99.8			%	→	99.7
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				56,699	55,914		60,566	
財源内訳	直接事業費 A			56,303	55,518		60,236	
	うち一般財源			27,768	26,400		28,973	
人件費 (千円) B				396	396		330	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.06	396	0.06	396	0.05	330
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	適切な事務の執行に努める。	③取組の課題	特別会計において経理されている事務及び事業に係る経費のうち、繰り入れ対象経費の把握及び適正な算定を行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	法令等に基づき後期高齢者医療保険特別会計繰出金を適正に執行することができた。	④今後の改善計画	特別会計で経理されている事務及び事業に係る一般会計からの繰り入れ対象経費の財源に充てるため、適正な繰り入れを行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	7-	4	
事業名	国民年金経費	会計	款	項	目
政策	1 健康であるために	一般	3	1	1
施策	1-3 社会保障の確保	課名	保険年金課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	国民年金加入者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	国民年金制度の周知により、理解と関心を高めて国民年金の受給権確保に努めます。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金法定受託事務 ・国民年金制度に係る周知業務 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			3,606		3,390		3,045		
財源内訳	直接事業費 A		522		42		45		
	うち一般財源		0		0		0		
人件費 (千円) B			3,084		3,348		3,000		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.44	2904	0.45	2970	0.4	2640	
	臨時職員 (人・千円)		0.1	180	0.21	378	0.2	360	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	法令に基づく受託事務を適切に行う。	③取組の課題	法定受託事務以外での国との連携。
②R3年度に実施した取り組み	法令に基づく受託事務を適切に行った。また、日本年金機構と協力・連携し、広報紙及びホームページによる国民年金制度の周知を実施した。	④今後の改善計画	日本年金機構と協力・連携し、国民年金制度の理解と関心を高めるため、国民年金制度の周知・啓発を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	7-	5	
事業名	医療給付経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	4
政策	2 次世代を育むために	課名	保険年金課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉医療費の助成対象者 (子ども、障がい者、一人親家庭等)	目的 (対象がどのような状態になっているか)	対象者の保健の向上に寄与し、もって福祉の増進を図ることを目的とする。
事業内容	医療給付事務…子ども、障がい者及び一人親家庭等の医療費の助成			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B		184,642		200,097	211,033			
財源内訳	直接事業費 A	178,654		193,863	205,855			
	うち一般財源	112,061		123,213	130,206			
人件費 (千円) B		5,988		6,234	5,178			
内訳	一般職員 (人・千円)	0.85	5610	0.83	5478	0.67	4422	
	臨時職員 (人・千円)	0.21	378	0.42	756	0.42	756	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	償還払い及び現物給付において適正な事務の執行に努める。	③取組の課題	助成を行うための財源の確保等、持続可能な福祉施策として取り組む必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	三重県福祉医療助成制度を活用し、償還払い及び現物給付において適正な医療費の助成を行った。	④今後の改善計画	子育て支援や経済的負担の軽減を図る施策として有効であるため、今後も円滑かつ確実に助成を実施していく。